

【参考①】

【注意！】

こちらは令和4年度の内容となります。あくまでも「ご参考」にされてください。

令和5年度においては開催要項が決定次第、改めてご案内いたします。

「事例の作成について」及び「事例提出様式」については、必ず「令和4年度」のご案内をご確認下さい。

令和4年度沖縄県介護支援専門員「専門研修課程Ⅰ」 事例の作成・提出について

1. 提出方法・提出期日

受講決定通知の際の「(別紙3)提出書類等について」を確認し、指定された期日までに、ご提出ください。(事例につきましては、メールにて提出してください。)

2. 提出する事例について

(1) 事例の選定

1	<ul style="list-style-type: none">研修における「演習」では、各自が実践した事例を持ち寄り、研修を行います。提出された事例は、共通事例として使用(受講者全員へ配布)する場合がございます。取扱いについて十分に理解したうえで、ご提出ください。														
2	【事例の対象期間】 ※令和4年度より追記 お手元の介護支援専門員証の有効期間満了日から遡って直近5年以内														
3	<ul style="list-style-type: none">以下A～Gの7つのテーマの視点での実践事例を【1つ】提出してください。介護予防事例、施設事例もしくは終了事例でも構いません。申込の際に申請した事例のテーマでご提出をお願いします。1つの事例に、テーマが複合的に含まれていても結構です。その場合、最も取り扱いたいテーマを選択してください。 <table border="1"><tr><td>A</td><td>リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例</td></tr><tr><td>B</td><td>看取り等における看護サービスの活用に関する事例</td></tr><tr><td>C</td><td>認知症に関する事例</td></tr><tr><td>D</td><td>入退院時等における医療との連携に関する事例</td></tr><tr><td>E</td><td>家族への支援の視点が必要な事例</td></tr><tr><td>F</td><td>社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例</td></tr><tr><td>G</td><td>状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例</td></tr></table> <p>※テーマの選択については、「4. 参考」をご確認ください。</p>	A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	C	認知症に関する事例	D	入退院時等における医療との連携に関する事例	E	家族への支援の視点が必要な事例	F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	G	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例
A	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例														
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例														
C	認知症に関する事例														
D	入退院時等における医療との連携に関する事例														
E	家族への支援の視点が必要な事例														
F	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例														
G	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例														
4	【注意事項】 <ul style="list-style-type: none">当該利用者及び家族・事業所(施設)の許可を得て提出してください。提出事例の作成にあたっては、対象とした要介護者等のプライバシー保護に十分配慮し、個人情報にあたる部分(氏名・住所・電話番号・生年月日・サービス事業所名等)は必ず消すようにしてください。提出いただいた事例を確認し、「事例の選定」の条件に満たないと思われるものについては、沖縄県に相談のうえ、再提出または受講取消となる場合があります。事例の提出がない場合は、研修の受講はできません。														

(2) 提出する事例の様式・作成方法

次の順番「0～4」の様式を作成してください。

順番	様式名	書き方・注意事項等
0	提出事例について	・「0～3」は、指定様式「(別添2)事例演習シート(エクセルデータ)」となります。
1	基本情報シート	・「0」は、研修用に追加したシートです。
2	アセスメントシート	・「1～3」は、「沖縄県版共通アセスメント様式 Ver.2.2」と同じシートです。当協会ホームページ(URL: https://www.okicare.jp/)に掲載されている「活用マニュアル」をご参照ください。
3	課題整理総括表	注意 <ul style="list-style-type: none">マスキングに注意してください。個人名・事業所名・住所・電話番号等は必ず消してください。

【参考①】

(3) 事例の提出方法

前項(2)様式「0～3：(別添2)事例演習シート(エクセルデータ)」については、

令和4年5月26日(木)までにメールにて提出する。

提出先メールアドレス ⇒ 1senmon@okicare.jp

3. マスキングについて

マスキングの基本

◎ 利用者個人が特定されないこと

個人情報とは

- ・利用者・家族
氏名、住所、電話番号、生年月日 など
 - ・主治医、サービス事業者
名称、氏名、所在地、電話番号 など
- ※指導・支援事例の場合、事例提供者(担当介護支援専門員)の氏名、事業所名もマスキングの対象です。

◎ 検討資料になること

消しただけ、または消してしまうと事例の理解が進まなくなるものに留意

- ・性別、年齢、続柄、認定区分
 - ・関係機関、関係者、出身地については、アルファベットで表す。
- ※イニシャルではなく、A(本人)から順次付ける

マスキング(個人情報消し込み)のルール

- (1) 個人情報に関する部分は修正液(修正テープ)で消した上でコピーをしてください。
※マジックや個人情報を消すためのスタンプでは、コピーをしたときに文字が浮き上がることがあります。出来るだけ修正液(修正テープ)を使用してください。
- (2) マスキング後の表記方法
 - ・利用者氏名 ⇒ 利用者本人の氏名は「Aさん」に統一してください。
 - ・生年月日、住所、連絡先 ⇒ 全て消してください。(年齢は記載、)
 - ・利用者家族、親族、サービス提供者等の氏名や連絡先
 - ・主任介護支援専門員「更新」研修の場合は、指導・支援事例となりますので、事例提供者(担当介護支援専門員)の勤務先名、所属する他の職員の名前も消してください。
⇒ 利用者以外の名前は「妻」「兄」などの続柄で表してください。
 - ・受講者(提出者)の氏名は、マスキング対象外です。

《消し忘れの多い項目》

- ・基本情報 ⇒ 利用者の出身地や地名、利用者家族の氏名・電話番号等(続柄は記載)
- ・課題分析(アセスメント) ⇒ サービス提供者等の氏名・電話番号

※1枚目は全て消していても、2枚目以降消し忘れているということが多く見受けられます。

【参考①】

4. 参考

・提出する事例のテーマの選択について、下記の表のキーワード例を参考にしてください。

《参考選択表》

項目	テーマ	キーワード例
A	リハビリテーション及び福祉用具に関する事例	筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用 等
B	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について 等
C	認知症に関する事例	初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がい取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況等
D	入退院時における医療との連携に関する事例	医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症 等
E	家族への支援の視点が必要な事例	家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族間の関係性を対応した 等
F	社会資源活用に向けた関係機関との連携に関する事例	地域支援・社会資源と特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例 等
G	状態に応じた多様なサービス(地域密着サービスや施設サービス等)の活用に関する事例	住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービス対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・複合型サービス・小規模多機能居宅介護活用 等